第２０期事業報告書

自令和４年４月１日　至令和５年３月31日

Ⅰ.事業の経過及び成果

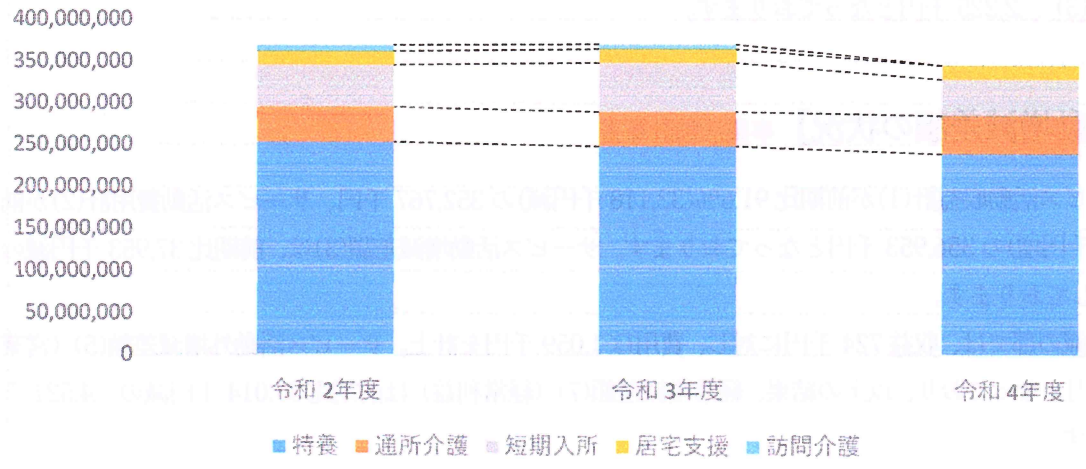
1【経営環境及び収入高の状況】

新型コロナウィルス感染症の影響が最も大きな期となりました。施設内での２度のクラスター発生による入居者の入院や入退所の停止により特養、短期入所の稼働が大きく低下し、訪問介護も事業休止となりました。近隣の施設・医療機関でもコロナの影響で入院退院の停止が相次ぎ新規の入所も難しい時期が続きました。

稼働率の低下が収入を直撃し、前年並みの収入を想定していた当初予算に対して 94%程度と大きな収入減となりました。

直近3期のサービス毎の介護保険事業収益の推移　（単位：円）

	令和 2年度	令和 3年度	前年比	令和 4年度	前年比
特養	253,220,414	248,385,605	98.09%	239,412,200	96.39%
通所介護	41,654,481	40,740,937	97.81%	45,504,934	111.69%
短期入所	51,012,915	59,306,252	116.26%	43,601,722	73.52%
居宅支援	15,929,530	15,994,080	100.41%	16,713,010	104.49%
訪問介護	7,517,525	5,801,213	77.17%	555,592	9.58%
合計	369,334,865	370,228,087	100.24%	345,787,458	93.4%



法人全体の介護保険事業収益は前期比93.4%(24,440 千円減)の 345,787 千円、その他の収益を含めたサービス活動収益は前年比91.6%(32,118 千円減)の 352,767 千円となりました。

2【部門別の状況】

1). 特別養護老人ホーム事業　　定員　50名

サービス活動収益計(1)（その他の収入を含めた総収入）は介護事業収益の前年比マイナスに加え前年のような大きな補助金もなく、前期比93.6%で16,670千円減の246,362千円となりました。入居者延人数(請求人数)は前期比830名減の15,978名、1日平均43.7名で平均介護度は大きく変わっていません。クラスター発生による稼働率の低下で大きく収入が下がりました。サービス活動費用計(2)は同103.5%で8,232千円増加し238,758千円、サービス活動増減差額(3)（売上総利益）は同23.3%で24,902千円減の7,603千円となっております。

2). 通所介護事業　　定員　30名

サービス活動収益計(1)は前期比111.6%で4,753千円増の45,504千円となりました。利用者数は若干回復傾向にあり前期より440名増の5,091名でしたが、今だコロナ禍前の80%程度となっております。平均介護度は前年と大きく変わっておりません。サービス活動費用計(2)は同112.0%で5,936千円増の55,191千円となりサービス活動増減差額(3)は1,182千円減の△9,686千円となっております。

3). 短期入所介護事業　　定員　10名

サービス活動収益計(1)は前期比73.5%で15,704千円減の43,601千円となりました。利用者延人数(請求人数)3,108名で前期より1,252名の減少となっております。施設内でのクラスター発生が影響して大きく減少しました。サービス活動費用計(2)は同102.1%で840千円増の39,651千円となりサービス活動増減差額(3)は同19.2%で16,545千円減の3,949千円となっております。

4). 居住支援介護事業（ケアプラン作成）

サービス活動収益計(1)は前期比104.4%で718千円増の16,713千円となりました。利用者数が回復傾向となっております。サービス活動費用計(2)は同102.2%で373千円増の16,703千円となり、サービス活動増減差額(3)は345千円増の9千円となっております。

5). 訪問介護事業

コロナ禍での利用者減に歯止めがかからず、令和4年5月末で活動を休止しており、それまでの活動でサービス活動増減差額(3) △2,225千円となっております。

3【サービス活動増減差額の状況】事業活動計算書

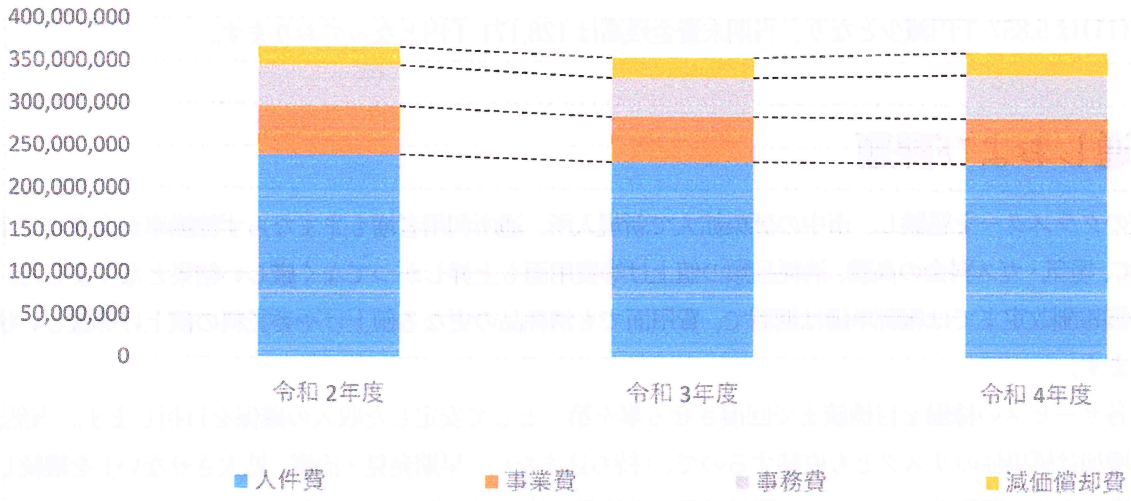
法人全体で、サービス活動収益計(1)が前期比91.6%(32,118千円減)の352,767千円、サービス活動費用計(2)が前期比101:6%(5;834千円増)の356;953千円となっております。サービス活動増減差額(3)は、前期比37;953千円減の△4,186千円を計上しております。

サービス活動外増減の部では、収益724千円に対し、費用は1,059千円を計上。サービス活動外増減差額(5)（営業外損益）は△335千円となっており、以上の結果、経常増減差額(7)（経常利益）は前期比37,014千円減の△4,521千円を計上しております。

特別増減の部は、今期は発生しておりません。結果、当期活動増減差額(11)（当期利益）として37,014千円減の△4,521千円を計上しております。

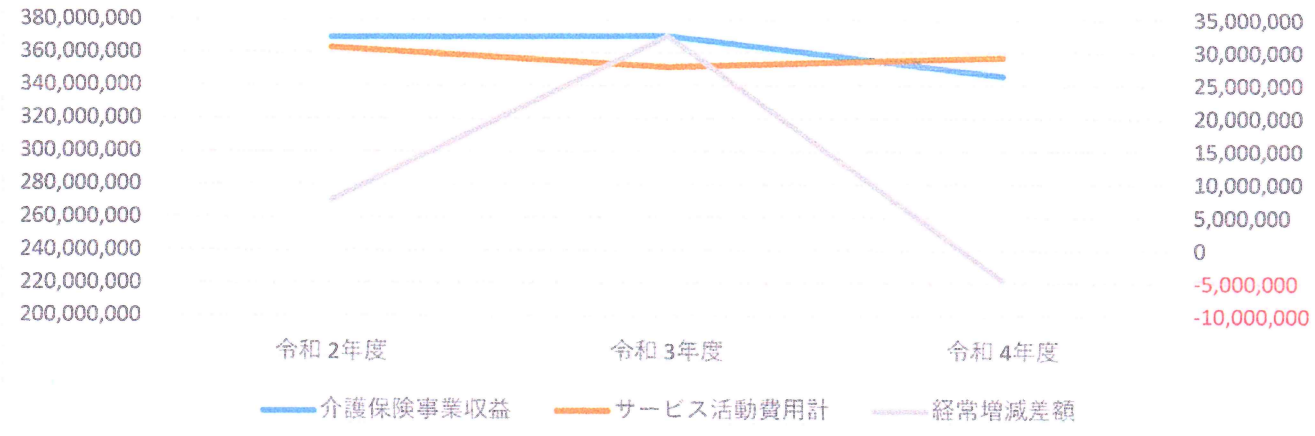
直近3期のサービス活動費用の推移　　（単位：円）

	令和 2年度	令和 3年度	前年比	令和 4年度	前年比
人件費	239,576,635	231,397,244	96.59%	230,412,145	99.57%
事業費	57,230,125	53,459,643	93.41%	52,734,632	98.64%
事務費	48,442,292	46,180,423	95.33%	51,754,296	112.07%
減価償却費	21,443,494	23,830,187	111.13%	25,801,327	108.27%



直近3期のサービス活動増減差額の推移(元ﾃﾞｰﾀ)　　（単位：円）

	令和 2年度	令和 3年度	前年比	令和 4年度	前年比
介護保険事業収益	369,334,865	370,228,087	100.24%	345,787,458	93.4%
サービス活動費用計	362,943,521	351,118,472	96.74	356,953,375	101.66
経常増減差額	7,604,851	32,492,704	427.26	-4,521,897	-13.92



4【財務の状況】貸借対照表　資金収支計算書

当年度末の総資産は期首より 31,489 千円減の 867,218 千円となりました。内訳は、負債合計が 23,218 千円減の 138;887 千円、純資産が 8,270 千円減の 728,330 千円となりました。純資産の内、次期繰越活動増減差額（次期繰越利益）は期首より 4,521 千円減少し 208,723 千円となりました。

資金収支面では、事業活動による収支(3)で 19,427 千円の資金増加となり、施設設備等による収支(6)においては、設備資金の返済等で 25,285 千円の資金減少となりました。その他の活動による収支はありませんでした。以上により当期資金収支(11)は 5,857 千円減少となり、当期末資金残高は 128,171 千円となっております。

Ⅱ.今後の見通しおよび課題

施設内で２度のクラスターを経験し、市中の感染拡大で新規入所、通所利用者増もままならず稼働率が大きく低下しました。加えて、電気・ガス料金の高騰、消耗品類の値上げ等費用面も上昇しかつてなく厳しい結果となりました。令和６年度の介護報酬改定までは報酬単価は据置で、費用面でも消耗品の更なる値上げや委託料の値上げ等厳しい状況となっております。

次期は早期に各サービスの稼働を目標値まで回復させる事を第一として安定した収入の確保を目指します。当然、利用者の往来の増加は感染症のリスクとも直結するので、「持ち込まない、早期発見・治療、拡大させない」を継続して感染対策を推進します。費用面については、原材料費や人件費の値上がり等で前年比増となるのは確実であるため「必要なものは必要なだけ使い、必要ないものには使わない」を徹底して不要なコストをカットして上昇幅を抑える努力をします。

今後施設を安定して運営していくには、ソフト面ではスタッフを安定して確保する事が必須であるので、引き続き現場の負担軽減の為の機器の導入、国の施策に沿った処遇改善、働き易い職場環境を構築する事等が必要となります。ハード面では老朽化した機器の更新時期が来ております。どちらも費用がかかる事でありますので、収支計画に基づいて着実に実行していく事が求められます。

Ⅲ.業務の概要

1. 主要な事業内容

イ.目　　的　　(1) 第一種社会福祉事業　特別養護老人ホーム

(2) 第二種社会福祉事業　イ.老人デイサービス事業

ロ.老人短期入所事業

ハ.老人居宅介護等事業

ニ.生計困難者に対する相談支援事業

(3) 公益事業　居宅介護支援事業

ロ.事業内容

特別養護老人ホーム　いちご　入所定員　50名

短期入所生活介護　　いちご　入所定員　10名

デイサービスセンターいちご　通所定員　30名

いちご　ケアプランサービス

ヘルパーサービス　ハッピー

2. 事業所の概況

名　称　　特別養護老人ホームいちご

所在地　　三潴郡大木町大字大角1133番地1

構　造　　鉄筋コンクリート造陸屋根4階建

面　積　　延　4197.83平方メートル

3. 基本金の状況

令和5年3月31日現在　　383,396,000円

4. 役員の状況

評議員	山口　博　　外6名
理　事	福田　優子　　外5名
監　事	池上　隆昭、溝口　恵太郎
	合計15名

5．従業員の状況

特養(短期入所含む)		通所介護		居宅介護支援	
医師（非常勤）	1名			介護支援専門員	3名
統括施設長	1名				
施設長	1名				
事務員	2名				
介護支援専門員					
（生活相談員兼務）	2名	生活相談員	1名		
介護職(パート含む)	30名	介護職(パート含む)	5名	合計	3名
（内介護福祉士28名）		（内介護福祉士5名）		訪問介護　※休止中	
看護職(パート含む)	5名	看護職	2名	介護職	名
（内看護師3名）		（内看護師1名）			
管理栄養士	1名	機能訓練指導員			
機能訓練指導員	1名	（看護職兼務）	2名		
介護補助（パート）	3名				
合計	47名	合計	8名	合計	名

6．金融機関との主要な取引

取引金融機関	預金額	借入額
福岡銀行大木支店他	95,275,040円	
独立）福祉医療機構		103,360,000円